

特別活動

特別活動では、学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事の内容のまとまりを踏まえ、ねらいとする資質・能力を育成することが求められています。特に、学級活動は、ねらいとする資質・能力に基づいて、内容や学習過程を踏まえた指導の充実を図ることが大切です。

特別活動の授業づくりのポイント

- 学級活動の内容や学習過程を踏まえた指導の充実
- 自治的能力の育成に向けた自発的・自治的な活動の充実を図る学級活動(1)の指導

学級活動の内容や学習過程を踏まえた指導の充実

学級活動(1)のキーワード

- 自発的、自治的な活動
- 教師の適切な指導の下
- 集団としてよりよく合意形成を図って実践する

適切な議題選定・話し合うことの設定

学級活動では児童が自主的、実践的に取り組むということを念頭に置いて指導することに加え、**学級活動の特質として、「議題」と「課題」の違いについて押さえておく必要があります。**

学級活動(1)については、問題を児童が発見し、共同の「議題」として選定します。その議題について話し合い、折り合いをつけて、集団として「合意形成」を図るのが学級活動(1)の学習活動のポイントです。

学級活動(2)(3)のキーワード

- 年間指導計画に基づいて指導
- 学級での話し合いを生かして
- 一人一人が意思決定して実践する

適切な題材設定・めあての明確化

学級活動(2)(3)については、年間指導計画に位置付けた題材を踏まえ、教師が共通の問題として「課題」を設定します。その課題について、教師の指導の下、解決方法の話し合いを通して考え、解決方法や努力目標を、一人一人が「意思決定」をすることが学習活動のポイントです。

学級活動(2)(3)の「課題」の設定は、年間指導計画に従って行うなど、教師の思い付きによる指導とならないようにすることが大切です。

自治的能力の育成に向けた自発的・自治的な活動の充実を図る学級活動(1)の指導

学級会の流れ

- ①議題の提案
- ②議題案を選定(計画委員会)
- ③議題の決定
- ④話し合いの準備(計画委員会)
・活動計画の作成
・学級会の準備
- ⑤学級会
・出し合う
・くらべ合う
・まとめる・決める

【小学校特別活動映像資料 学級活動編より】

資質・能力の育成に向けて、学級活動(1)に係る学習活動は、学級や学校生活の充実、向上のためであり、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図るものであることが必要です。

学級活動(1)における「議題」の設定について、教師が議題を与えるのではなく、児童自身がよりよい議題はどれかを選定できるようにするとともに、話し合いの際は、互いの意見のよさを生かすとはどういうことかを指導する必要があります。

〔参考〕学級活動の学習過程を学ぶことのできる動画コンテンツ

学級活動の指導においては、教師と児童による議題の選定までの流れや合意形成の仕方、課題解決の見通しを共有し、学習活動を進めることが大切です。

国立教育政策研究所が作成した「小学校特別活動映像資料 学級活動編」では、児童が視聴して学ぶことのできる、学級活動(1)の学級会の開き方や学級活動(2)(3)で設定した課題に関連する動画コンテンツを、端末を活用して視聴することができます。

「小学校特別活動
映像資料 学級活動編」



掲載ページ 二次元コード